

# スキップ

No.19

2011年9月13日

J R 東海労働組合

秋の闘いシリーズ④

## 地震だ 津波だ すぐ避難 これ、基本！

新幹線の乗務員の皆さん！会社は東北地方太平洋沖地震の際（3月11日）、新幹線については大津波警報が出ているのにもかかわらず、運転を再開しました。その理由を「新幹線の走るところで津波が予想されることはないから」だ、としています。また、大津波警報発令時の新幹線の運行については「自治体のハザードマップが変われば会社のルールも変わる」としています。要は、自治体の方針・考え次第だということです。

ところで、静岡県の資料によると、東海道線と東海道新幹線が並行して走る浜名湖周辺では東海地震発生すると3メートル近い高さの津波が来ると想定されてるんです。そして、津波から命を守る対策として「地震だ 津波だ すぐ避難」ということを明確に打ち出しているんです。地震が来たら津波が来ることを想定しすぐ逃げる、ということです。しかし皆さん、地震が来て新幹線が停電し浜名湖付近で列車が停止しても、現状では乗客を避難させ、我が身を守るマニュアルがないんです。

J R 東海ユニオン・国労指導部の皆さん、乗客の命を守るということは組合員の命を守るということです。労働組合として最悪の状況を考えて、会社にモノ申すべきではないですか！

### 新幹線の津波に関する要求

1. 津波・大津波警報発令時の東海道新幹線の運転規制について、マニュアルを作成すること。
2. 東海道新幹線が停車し、海に近い場所や大津波警報が発令された場合の乗客の避難誘導についてマニュアルを作成すること。

**私たちは職場の声を交渉に反映させ  
改善に向けて取り組みます！**

想像してみてください！大津波警報発令中に停電して  
浜名湖橋りょう付近で列車が停止したら…